

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人 桜城会
事業所名	グループホーム友愛
訪問調査日	平成21年2月28日
評価確定日	平成21年3月28日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

〔取り組みの事実〕

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

〔取り組みを期待したい項目〕

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

〔取り組みを期待したい内容〕

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人 桜城会
事業所名	グループホーム友愛
所在地	246-0037 横浜市瀬谷区橋戸3-54-9 (電 話) 045-304-5690

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成21年2月28日	評価確定日	平成21年3月28日

【情報提供票より】(平成20年10月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平 16年8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 6 人, 非常勤5人, 常勤換算7.9人	

(2) 建物概要

建物構造	木造コンクリート造り
	2 階建ての, 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	49,000 円	その他の経費(月額)	40,000 円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (240,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 /無
食材料費	朝食 300 円	昼食 300 円	
	夕食 300 円	おやつ 100 円	
	または1日当たり	1000 円	

(4) 利用者の概要(10月10日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 75.3 歳	最低 60 歳	最高 84 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中希望が丘 診療所、友愛歯科クリニック
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームの経営母体は医療法人桜城会であり、桜城会はこのグループホーム友愛の他、妹さんの経営する歯科医院を展開している。ロケーションは相鉄線瀬谷駅より徒歩15分位のところで、境川に沿った住宅地の中にある。近くには幼稚園、公園などが点在し、落ち着いた環境である。二階建て1ユニットの民家の改造ホームで、家主さんは地元企業の社長さん、以前には地元に関係の深い須田さんという方が住んでいた所でもあり、地域との密着は強いものがある。利用者の人格を尊重した理念を定め、それに沿った家庭的な雰囲気の中で自立支援を行っている。介護計画はセンター方式で行い、アセスメントは職員と一緒にカンファレンスを開き、ケアマネジャー(非常勤)が纏める形式を取っている。ここの特長は職員のコミュニケーションの良さであり家庭的な良い雰囲気がある。常に話し合を持ち、建設的な意見が出され、お互いに助け合ってなごやかな気分が満ちている。食事の献立は利用者たちで決めており、栄養士さんから指導を受け、片寄らないよう配慮している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 最近、「みとり」を行った経緯がある。このホームは生活保護を受けている利用者が多く、役所と連携をとりながらいろいろな体験を通して看取りの方法を学んだ。利用者は体調を崩しホーム職員の通院介助で市大病院へ100回近くも通い、その努力を家族が知り、延命治療に関しては自然にまかせる意向を示された。今後救急医療の必要性が生じたとき、延命治療をするか、しないかを口頭又は文書で確認しておくこと等を役所と連携して進めて行くことが大切であると感じている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価では職員とのミーティングを開き、管理者が意見を吸い上げながら集約していく方向で纏めた。小さなホームなので書類なども多々必要と云う点では、出来るだけ書類を集約し、書類を最小限に留めたいと考えている。評価のプロセスでの気付きや指摘事項については改善計画をたてて改善に取り組むことにしている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 瀬谷区は高齢者対応と運営推進会議に熱心であり、瀬谷区主催で地域支援センターの管轄内のグループホームが合同のブロック別運営推進会議を開催しており、すでに今まで3回実施されている。今年度からは2ヶ月に1回の割合で事業所別運営推進会議を開催するようとの話があり、先日第1回目を開催した。メンバーは自治会長、民生委員、ご家族とホーム関係者である。基本的にはホーム4年間の経緯をお話しご理解を頂いた。更に防災の件では火事が発生したときの応援、夜勤の場合の避難体制(2階の場合、ベランダからの救助)など具体的なことの話し合いもあった。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 当ホームは家族との縁が薄い利用者が多いが、ホーム内は家族的な結びつきが強く、職員は利用者の気持ちを尊重して家庭的な雰囲気を大切にしている。生活保護の関係では役所との連携を密にし、常に報告し、協力を仰ぐ姿勢を心掛けている。月1回食事会を実施し、外食で回転寿司やファミリーレストラン等を利用して、普段ホームで食事をするときよりも、一段と食欲が進む楽しい時間も持てるようにしている。家族会がまだ設置されてないので2~3ヶ月に1度文書にて近況報告をし、利用者の気持ちを尊重して家族との結びつきを深めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会、老人会には当ホーム自体と利用者個人が入会しており、老人会主催の「誕生会」で歌を歌ったりしている。幼稚園の行事では「もちつき大会」「夏祭り」などにお誘いがある。核家族化が進み おじいさん おばあさんと話す機会も少ないためボランティアとして、中学生、高校生に声をかけている。地域の防災・避難訓練に参加し、近隣の方にも協力を促している。同業者との連携も進めており、瀬谷区と旭区では3ヵ月に1回合同連絡会を開き課題について話し合っている。

2. 評価結果（詳細）

（ ☐ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所を開設した平成16年に理念「家庭的な雰囲気と利用者の人格を尊重し自立のお手伝いをする」を定め、その実現に努めている。自治会や老人会に加入し地域の交流にも取り組んでおり、地域との密着は強いものがある。		今後も継続して実施する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員が理念を共有して介助サービスに取り組んでいる。利用者の意思を尊重した支援で排泄介助が不要になったり、介護度が軽減した例もあり、お互いに助け合いなごやかな雰囲気が満ちたホームとなっている。		今後も継続して実施する。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会と老人会に加入しており、老人会主催の誕生会やお誘い会に参加したり、地域の夏祭りや盆踊りが利用者の楽しみとなっており、多くの行事に参加している。		今後も継続して実施する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員とのミーティングを開き、管理者が意見を取り入れ集約していく方向で常に職員のレベルアップにつながる質の向上を考えている。小さなホームなので書類なども多々必要と云う点では、出来るだけ書類を集約し、書類を最小限に留めたいと考えている。		今後も継続して実施する。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	瀬谷区は高齢者対応と運営推進会議に熱心であり、瀬谷区主催で地域支援センターの管轄内のグループホームが合同のブロック別運営推進会議を開催しており、すでに今まで3回実施されている。今年度からは2ヶ月に1回の割合で事業所別運営推進会議を開催するようとの話があり、先日第1回目を開催した。メンバーは自治会長、民生委員、ご家族とホーム関係者である。		今後も継続して実施する。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議にて地域の実力者にお話しし中学高校のボランティアにグループホームをもっと理解していただくようお願いし、核家族化が進みおじいさん おばあさんと話す機会も少ないため大切にしている。生活保護の関係では役所との連携を密にし、常に報告し、協力を仰ぐ姿勢を心掛けている。		今後も継続して実施する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム内は家族的な結びつきが強く、職員は利用者の気持ちを尊重して家庭的な雰囲気を大切にしている。家族会がまだ設置されていないので2～3ヶ月に1度文書にて近況報告をし、利用者の気持ちを尊重して家族との結びつきを深めている。		今後も継続して実施する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の方が職員に不満や意見をすぐに報告できる雰囲気になっており相談されればすぐに反映したり検討し実行し、常に家族的な気持ちを大切にし、見守る姿勢を心掛けている。		今後も継続して実施する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者や職員の意見を取り上げ集約して状況に応じて対処している。チームケアに心がけている。		今後も継続して実施する。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他社の教育機関や研修に積極的に参加させており、常に管理者や職員のレベルアップにつながるよう質の向上を考えている。		今後も継続して実施する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との連携も進めており、瀬谷区と旭区では3ヵ月に1回合同連絡会を開き課題について話し合っている。近くのグループホームと常に連絡を取り合い近況の状況や空き部屋、入居者の応募状況など相互に相談し、地域との密着を強め、話し合いが常に持たれ建設的な意見が出されている。		今後も継続して実施する。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所していただき、其の時いろいろ聞き出し入所にあわせ即実行し、家庭的な雰囲気の中で利用者の支援を行っている。		今後も継続して実施する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に家庭的な雰囲気を心がけ、利用者さんは両親と思い背し、お互いに助け合ってなごやかな気分が満ちている。		今後も継続して実施する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入浴時間や個々の趣味や余暇の過ごし方を本人本位にして介護しており、家庭的な雰囲気の中で自立支援を行っている。		今後も継続して実施する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケア会議を月1度開催しその都度意見交換しケアプランを練り直し、利用者会議を開きゴミ出し、掃除など片寄らないよう当番制にしている。		今後も継続して実施する。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	病院に入院した時、退院したときなど状況変化が生じた時即現状に合わせるようにし、話し合いが常に持たれ建設的な意見が出され、お互いに助け合っている。		今後も継続して実施する。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その都度家族や区の担当者と連絡を取りながら最善の方法を柔軟に取り入れ対処し、家庭的な雰囲気の中で利用者の支援を行っている。		今後も継続して実施する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と瀬谷区と相談し適切な医療を受け家族の意向により看取りまで支援した。今後救急医療の必要性が生じたとき、延命治療をするか、しないかを口頭又は文書で確認しておくこと等を役所と連携して進めて行くことが大切であると感じている。		今後も継続して実施する。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入院に際し医師や家族スタッフと相談しそのような方針を共有し決定し、延命治療に関して口頭又は文書で確認することを役所と連携して進めている。		今後も継続して実施する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に○○さんと呼び○○様で記録し特に気を配った介護を心がけ、利用者を中心にした支援を行っている。		今後も継続して実施する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全てのことが出来るわけではないが言いたい事や希望を自由に言える環境にしている。		今後も継続して実施する。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買出しやメニューの段階で相談したりして決定し、洗物の応援を依頼している。外食などを利用したとき、普段ホームで食事をするときよりも一段と利用者の食欲が進んでいる。		今後も継続して実施する。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1人で入浴が可能な方は好きな時間帯に入浴していただいており、家族的な雰囲気の中で利用者の支援を行っている。		今後も継続して実施する。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	手芸やその他趣味の楽しめる方はそれぞれに応じた支援をし、常に家庭的な雰囲気を大切にしている。		今後も継続して実施する。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	マンネリ化防止のため散歩を個人の能力に応じた距離を楽しんで頂いており、お互いに助け合ってなごやかな気分が満ちている。		今後も継続して実施する。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての居室に鍵は無く夜以外はかけず、利用者の人格を尊重し、自立支援を行っている。		今後も継続して実施する。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の防災訓練や非難訓練に参加し近隣の方には火災時の応援を依頼し、特に夜勤の場合職員が一人になるため避難の仕方など協力を促している。		今後も継続して実施する。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	基本的な栄養摂取の目安を献立表の目立つ所に置き水分や塩分に注意した献立にしている。区の保健センターの指導も受け、食事の献立が片寄らないよう配慮している。		今後も継続して実施する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には出来るだけ季節の花を置いたりして、1年をとうし明るく努めている。利用者さんが撮った写真や額をかけて、利用者の気持ちを尊重して家庭的な雰囲気を大切にしている。		今後も継続して実施する。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用していたタンスや仏壇等を持参して頂き今までの生活と変わらないようお願いし、家庭的な雰囲気の中でなごやかな気分が満ちている。		今後も継続して実施する。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム友愛
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	横浜市瀬谷区橋戸3-54-9
記入者名 (管理者)	古指祐次
記入日	平成21 年 2 月10 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所を開設した16年に(家庭的な雰囲気と利用者の人格を尊重し自立のお手伝いをする)との理念を制定し「その実現に努めている自治会や老人会に加入し地域の交流にも取り組んでいる。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員が理念を共有して介助サービスに取り組んでいる。利用者の意思を尊重した支援で排泄介助が不要になったり介護どが軽減した例もある。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族の無い方が主体で家族会の設立が無いためまだ其の域に達していない。		
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方とは散歩やリハビリの時に顔を見れば心良く挨拶をしたり花壇の花を見せていただいたりして、親しくして頂いている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会と老人会に加入しており老人会主催の誕生会やお誘い会に参加したり、地域の夏祭りや盆踊りが利用者の楽しみとなっている		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	散歩の都度ゴミ広いをして地域の美化に活かしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議にて地域の実力者にお申し中学高校のボランティアにグループホームをもっと理解していただくようお願いしている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	瀬谷社会福祉協議会に加入し安心センターを利用しそのようなシステムを学んでいる。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉や行動ちょっとした発言にも虐待に値する事をミーティングや会議等で説明している。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時説明し納得しての入所となっている。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	クレームや苦情の意見箱を用意し投函していただくシステムにはなっている。が利用実績はない。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会がまだ設置されてないので2～3ヶ月に1度文書にて近況報告をしている。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の方が職員に不満や意見をすぐに報告できる雰囲気になっており相談されればすぐに反映したり検討し実行している。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	家族的な雰囲気が理念になっているので、いつでもそのような機会になっているので、其の都度意見を聞き運営に反映できるものは即実行している。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務時間はスタッフの希望を第一に優先するため休日希望日を聴きシフトを作成している、状況に応じて時間帯も変更可としている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	そのような場合状況に応じて対処している。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他社の教育機関や研修に積極的に参加させている。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近くのGHと常に連絡を取り合い近況の状況や空き部屋、入居者の応募状況など相互に相談している。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会や忘年会、暑気払、連休等で対処している。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	常にそのように努めているつもりですので、ご苦労さまです。頑張ってください。の言葉に代えて声掛けしている。また資格取得を積極的に指導している。		

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	慣れ染めの担当者を早めに決め出来るだけ早い段階で不安を取り除き安心して暮らせるよう努めてます。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	お互いに早く理解していただくために、家族にも体験入所していただいた。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	体験入所していただき、其の時いろいろ聞き出し入所にあわせ即実行できた。		

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所していただき、其の時いろいろ聞き出し入所にあわせ即実行できた。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に家庭的な雰囲気を心がけ、利用者さんは両親と思い背している		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に家庭的な雰囲気を心がけ、利用者さんは両親と思い背している		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家庭的な雰囲気とは両親や兄弟と暮らす関係と同じこと、そのような指導を面接時や困った時にしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	宗教やその集会など参加させていただき今までのリズムを変えないようにしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	新入居者があった時などを利用し気の合う者を近くに来るよう食事の席、居室交換などしている。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	近隣の家族のため銭湯等であった時挨拶され、感謝の気持ちを頂いた旨スタッフに報告している。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入浴時間や個々の趣味や余暇の過ごし方を本人本位にし介護させていただいてる、。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人に趣味や余暇の話と同時に聞くようにし過去の生活を大切にしながら対応している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	朝のバイタルチェックで1人1人のようすを観たりヒヤリングしたりしてその日の精神状態や健康状態を把握し当日のスタッフに周知させる		
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケア会議を月1度開催しその都度意見交換しケアプランを練り直している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	病院に入院した時、退院したときなど状況変化が生じた時即現状に合わせるようしている。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個人記録を共有し対処している。		

3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その都度家族や区の担当者と連絡を取りながら最善の方法を柔軟に取り入れ対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員、会長さんに運営推進委員になっていただいて協力を頂いています。又警察や消防の方にも必要に応じて協力していただいている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	安心センター等今年度より協力を頂いている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	安心センター等今年度より協力を頂いている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と瀬谷区と相談し適切な医療を受け家族の意向により看取りまで支援した。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	月に2度往診に来ていただき適切な受診をしている。		
	○看護職との協働			

45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師を雇用しとっさの時アドバイスをいただいている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	常に安心できるよう見舞いに出向き本人や医師と相談しそのような処置をとっている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入院に際し医師や家族スタッフと相談しそのような方針を共有し決定している。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入院に際し医師や家族スタッフと相談しそのような方針を共有し決定している。現に昨年そのような決定の上看取りまでおこなっている。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	前例が無いがそのような場合はそのよう努力する。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に〇〇さんと呼び〇〇様で記録し特にきを配った介護を心がけている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	全てのことが出来るわけではないが言いたい事や希望を自由に言える環境にしている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全て希望どおりではないが個人を優先している、特に外出などそうした支援をしている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月に1度理容師さんに訪問していただき好みに応じた身だしなみをしている。その都度の衣類なども本人の意向と季候に応じた身だしなみにしている。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	買出しやメニューの段階で相談したりして決定し、洗物の応援を依頼している。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙者には決められた数のタバコを決められたところで楽しんでいただいている。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	なるべくその人の排泄パターンを理解し事前にトイレ誘導をしている		
	○入浴を楽しむことができる支援			

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1人入浴が可能な方は好きな時間帯に入浴していただいている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	時間は自分で自分に合った環境にするため自由に自分で作れる状態にしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	手芸やその他趣味の楽しめる方はそれぞれに応じた支援をしている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物についていき可能な方は今までどうりの購入をしていただく		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	マンネリ化防止のため散歩を個人の能力に応じた距離をも新で頂いている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個人のリクエストによる外出を試みました。いろいろ検討項目が多く一時中止。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙は余り好きな方がいないようであるが年賀状は書ける方は書くようおねがいしている。		
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	近隣の方や家族の方がいつでもこられても声さえ掛けていただければ結構です。宿泊も可能です。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的なこととしてそのようなことの無いケアを行っている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての居室に鍵は無く夜以外はかけない。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の所在を把握し夜は巡回を2回実施している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	カミソリ等は電気に変えたりおき場所を変えたりして安全を保っている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒しやすい方の居室を変えたりして把握しやすいようにしたり、いかなる洋服でも外出時ホームの住所を記した名札を洋服につけている。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急連絡網と万一に備え応急救命の実習を受けている。		
	○災害対策			

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の防災訓練や非難訓練に参加し近隣の方には火災時の応援を依頼している。		
72	〇リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	万が一の時救命処置の方法等を文書で頂くようしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	〇体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックの状況にて異変者を把握し状況をみて掛かりつけ医に相談したり場合により入院の処置をとる。		
74	〇服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診の先生に指導していただいたり、薬の効能書で勉強したりして啓蒙に努めている。		
75	〇便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	往診の先生に指導していただいたり、薬の効能書で勉強したりしている。散歩や体操などを行っている。		
76	〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の歯磨きを奨励し声掛けや、出来ない方には支援している。又歯科往診も毎週指導や口腔ケアを実施。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	基本的な栄養摂取の目安を献立表の目立つ所に置き水分や塩分に注意した献立にしている、区の保健センターの指導も受けている		
	〇感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年従業員、入居者、全員予防接種を受け外出後は手洗いを励行して予防に努めている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾まな板等は定期的に消毒し食材は生ものには必ず加熱処理し衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には出来るだけ季節の花を置いたりして、1年をとうし明るく努めている。利用者さんが撮った写真や額をかけている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には出来るだけ季節の花を置いたりして、1年をとうし明るく努めている。利用者さんが撮った写真や額をかけている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂や居間にはソファを置き気の合った方同士で談話したりテレビを見たりの環境になっている。		
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用していたダンスや仏壇等を持参して頂今までの生活と変わらないようお願いしている。		
	○換気・空調の配慮			

84	気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室にいる方には定期的に換気をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行訓練や自力で運動しやすいように手すりをつけリハビリを兼ねた散歩が出来るようにした。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個人の力量にあった環境、趣味に集中できる方やそうでない方の状況に合ったよう工夫している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天井の空間に飾りをしたり、ベランダで洗濯物を干せるように活用している。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日常の生活で困ったことやどうしようなどと疑問が発生した時、私の母であれば父であればこう対処する。を実行する。